

ガルモハル

JAPANESE SCHOOL
OF MUMBAI

TEL 022-6694-0630

9 JULY/2024 NO4

「海外子女文芸作品コンクール」に全校で応募！

校長 佐藤 義朗

昨年度から本校は、公益財団法人 海外子女教育振興財団主催「海外子女文芸作品コンクール」に全校で応募しています。自身が見て感じたインドを、俳句や短歌、詩や作文にして表現豊かに表しました。子どもたちのもっている純粋で素直な感性そして柔軟性が言葉で表現され、異なる文化の中で何に目を向け、どのように感じているのか理解することができました。また、今回の取組を通じて日本を離れた地で平和な日常を送ることができるありがたさも感じる事ができました。

以下子どもたちの作品を紹介します。（今回は、小学部です）

・すずしいな	リキシャにのると	はやいんだ	2年	M S
・インドのね	タージマハール	まぶしいな	2年	M A
・オレンジの	白みどりある	国つきだよ	2年	S M
・まっ白な	タージマハール	きれいだね	3年	K S
・インドのね	りょうりはぜんぶ	からいよね	3年	M J
・インドはね	ふしぎなけしきが	多いよね	3年	A T
・インドって	なんでリキシャが	あるのかな	3年	H T
・インドは	オクラそだてる	いいところ	3年	R M
・インドはね	マンゴーおいしい	国だよ	3年	K W
・夏が来た	まっかにもえる	ガルモハル	4年	A A
・雨がふる	緑がおどる	モンスーン	4年	Y F
・モンスーン	雨がふったら	木がおどる	4年	K S
・たのしみは	灼熱の日を浴びている			
	ガルモハルの 樹見つけ出す時		6年	M A
・たのしみは	リキシャにのってここちよい			
	風があまたに 吹いてくる時		6年	T H
・たのしみは	かき氷食べくつろいで			
	部屋を冷やして ゲームする時		6年	K M
・たのしみは	お店で買ったマンゴーを			
	切っておいしく かぶりつく時		6年	A K
・陽のような	赤いマンゴー食べる頃			
	赤が重なる あのガルモハル		6年	W S





インドで活躍する日本人！講演会



昨年度から実施している「インドで活躍する日本人」講演会。今年度の第一回はコクヨから糸口貴様をお招きして開催しました。文具やオフィス家具でとても有名な会社で、学校でも机やノートなどで大変お世話になっています。

そんなコクヨですが、少子化やデジタル化でノートの消費量は減りつつあったそうです。そうした状況の中、選択したのが大規模な人口を抱え、経済成長が著しいインドへの進出。こうした企業戦略をうかがえたことはとても興味深いものでした。

また、子どもたちには「謙虚でオープンマインドな姿勢」「しんどい時こそ笑顔を忘れない」「運がいいと信じる」「自分も信じる」など、力強いメッセージをいただきました。

【児童生徒の感想より一部抜粋】

・ぼくもインドに来れたことを運がいいと思ってたくさん友達をつくって楽しい学校生活を送りたいです。

(小学部3年)

・話を聞いて改めて自分が幸運なんだと実感することができ、インドに連れてきてくれた親に感謝することができました。(中学部2年)



修学旅行に行ってきました！

小学部5年生から中学部3年生の生徒児童が6月10日～12日までの2泊3日の日程で、修学旅行に行ってきました。初日は世界遺産フマユーン廟を訪れたり、ホテルでブロックプリントを体験したりしました。2日目はヤクルト・ダノンへの企業訪問。ヤクルトの歴史や商品説明を受けた後は製造工程も見学させていただきました。ものすごい勢いで作りだされるヤクルトの数に、児童生徒も目を丸くしたようです。3日目は今から1200年前に建てられた勝利の塔、クトゥブミナールの見学。大昔にどのようにして石を積み上げ、あれだけ高い塔を作り上げたのか、インド人の技術の高さに驚かされました。暑い日が続きましたがスローガン「クシュオパダイー～楽しく学んで悔いの残らない修学旅行にしよう～」を達成できた素晴らしい3日間となりました。



いろいろな体験活動にトライしました。

上級生が修学旅行に行っている間、下級生は学校で様々な活動を体験しました。インドの伝統アート「メヘンディー」をインド人スタッフから教えてもらったり、ミニ運動会を実施したり。キッズニアでのアクティビティを楽しんだりもしました。

